

本の世界を深めよう

「読書座談会」をしよう（6年）

●指導目標

- ◎ 自分の興味や関心を広げたり深めたりするために、必要な図書を選んで読み、自分の意見や感想、その本の内容を工夫しながら話す。
- 作品に興味をもち、図書室や図書館などで関連する本を探し、すすんで読もうとする。（読む）

●教材について

本教材の読むことの学習「『読書座談会』をしよう」は、「本の世界を深めよう」の第一教材である『きつねの窓』との出会いや感動をきっかけとして、これまでの読書体験を想起し、その体験から生じた思いを「読書座談会」で交流するという、単元の中の第二教材である。5年生では、作者やテーマを決めて何冊かの本を読んで、読書の世界を広げていく「読み広げ」を観点としていたが、本単元では、テーマを決めて本を読んで友達と話し合い、自分の感じ方の違いに気づく「読み深め」を観点としている。また、5年生では「『読書発表会』をしよう」として、友達の発表から複数の作品をつなげて読む活動を、本単元では、「『読書座談会』をしよう」として、互いに違いを感じ取りながら読む活動をうながしている。読書の楽しさを十分に体験し、自分たちのこれまでの読書生活を振り返りながら本の楽しさを語り合うことで、本の世界を深め、これからの読書生活をより豊かにすることを意図した単元である。さらに、友達と話し合うと、自分が読んで感じたこととは違った受け取り方があることに気づく。そうすることによって、本の世界を広げ、深めていくことをねらった単元でもある。

そのなかで、本教材「『読書座談会』をしよう」は、話し合う本や、テーマごとにグループを作り、読んだ本の感想や意見をまとめ、座談会形式で紹介し合うという活動である。一人一人が自分のものの見方・考え方をもち始めているこの時期に、読んだ本について友達と語り合う学習は大切な活動である。同じテーマや同じシリーズの本を読んでも、受け取り方に違いがあることを子供たちがお互いを感じ取ることが重要である。テーマに即して自分の興味のある本を探して読み、感想や意見をまとめ、読書座談会で発表したり話し合わせたりさせたい。また、自分の考えや意見を交えながら本の紹介の仕方を工夫したり、友達に紹介された本を読んだりさせる。これまでの「読書発表会」とは違い、少人数による「座談会」形式をとっていることを大切にしたい。

そこで、本実践では、以下のことに留意し、指導にあたることとする。

（１）読書生活を広げるために

単元の導入段階から「読書座談会」を想定し、子供たちに「これまで読んだ本の中から心に残った本を紹介しよう」と言葉を投げかけたり、学級文庫をジャンルや作者、シリーズなど、テーマ別に整理するなど、読書環境を整えておく。座談会では、教科書の発表例をもとに、自分の考えや意見を交えながら、紹介の仕方を工夫させたい。

（２）『きつねの窓』をもとにした活動

座談会の概略を理解したりするために、まず、みんなで読んだ『きつねの窓』を活用する。単なる感想や自分の思いを発表するだけでなく、疑問や質問をもとに話し合うことを大切にし、再度叙述に立ち返って小グループで話し合わせたい。

●学習指導計画（全6時間）

展開・時		過程	学習活動	留意点，評価規準及び方法
二 次	第1時	・課題通をしつをかもむつ	○教材文を読んで，読書座談会の目的や概略を理解するとともに，これまでの読書を振り返り，テーマを決め，発表の準備をする。	関 ：読書座談会に興味をもち，これまでの読書生活を振り返りながら，テーマを決めようとしている。 （読書の記録・態度）
	第2時	（実践書）	○テーマに即して自分の興味のある本を探して読み，感想や意見をまとめる。	関 ：図書室や図書館などで関連する本を探し，すすんで読もうとしている。 （読書の記録・態度） 読 ：テーマに合った本を読み，自分の意見や感想をもっている。（ワークシート）
	第3時	（実践談会準備）	○効果的に自分の考えを伝えるために，教材文を参考に発言の仕方を考えたり，提示資料を作成したりして，発表方法を工夫する。	話聞 ：発表の仕方や提示資料を工夫している。 （ワークシート・態度） 書 ：読書座談会で自分の考えが相手に伝わるように，話したいことの内容を整理して，書いている。 （ワークシート） ○デジタルカメラなど視聴覚機器も活用できることを助言する。
	第4時（本時）	（実践談会）	○読書座談会を行って，読書意欲を高めるとともに，自分の考えをわかりやすく人に伝えたり，人の考えを正しく聞き取ったりする。	関 ：自分のテーマについてわかりやすく紹介しようとしている。 （座談会の様子・発言） 話聞 ：テーマに合わせて，自分の意見や感想をわかりやすく話している。 （座談会の様子・発言）
	第5・6時	（実践振り返り）	○テーマごとに，話し合われた内容をビデオや録音機で紹介し合ったり，友達から紹介された本を読んだりする。	話聞 ：友達の座談会の工夫やよさを意識しながら最後まで聞いている。（態度） 関 ：自分の興味の深まりに応じて，読書をしようとしている。（態度）

●本時の展開（本時4／6）

目 標

- ・読書座談会を行って、自分の考えをわかりやすく人に伝えたり、人の考えを正しく聞き取ったりすることができる。

●展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 ・ 支 援
1 本時のめあてを確認する。 <話し手> 自分の考えが相手に伝わるような読書座談会にしよう。 <聞き手> 人の考えを正しく聞き取れるような読書座談会にしよう。		○前時までの学習をとの中心を整理して書いたワークシートをもとに会を開けるように助言する。 ○聞き手の視点も明示することで、参加意識が高まるように助言する。
2 読書座談会を開く。 ○司会者を決める。 ○話し合いの方法を確認する。 ・初めのあいさつをする。 ・グループ内での発表の順番を決める。 ・順番に話す。 ・意見や感想を言う。 ・終わりのあいさつをする。 ○自分の原稿を確認する。 ・自分のいちばん伝えたいことは何かを確認させる。 ・聞き手が興味をもって聞ってくれる工夫を確認させる。 ○座談会を始める。 <テーマ例> ・『ファンタジー作品』 ・『ハリーポッターシリーズ』 ・『星新一さんの作品』 ・『ゾロリシリーズ』など いちばん伝えたいことを聞き手の興味を考えながら紹介し、紹介された話を意識しながら聞くことのできる座談会をもつ。	○グループ内で司会者を決め、話し合いの方法を確認してから座談会に入る。 ○原稿を確認しながら、話す準備をさせる。 ○各グループの話し合いは、ビデオで録画したり、録音機で録音しておき、次時などで活用する。 ○教科書の教材にある以外にも児童の興味・関心を広くとらえておく。	○前時までに、発表原稿や発表メモを作成し、自分なりに推敲したり指導者の支援を仰いだりするように助言しておく。 関：自分のテーマについて、わかりやすく紹介しようとしている。 (座談会の様子・発言) 話聞：テーマに合わせて、自分の意見や感想をわかりやすく話している。 (座談会の様子・発言) 話聞：友達の工夫やよさを意識しながら聞いている。 (座談会の様子・発言)
3 次時の学習を確認する。	○次時は、各グループの話し合いの様子をビデオで見たり、座談会で活用した提示資料や一覧表などを見たりしながら、他のグループの座談会の様子に触れることを確認する。	○お互いに紹介された本を読んでみたいという環境を整え、読書意欲につなげる。

●授業の振り返り

教室には、学級文庫として人数×4冊ほどの本を置いている。これまでは、本への興味は強い印象を受けているが、好きなジャンルに偏る傾向が見られたり、系の活動の一環として、教室に「おすすめ本」の紹介など掲示しても、なかなか興味をもって見るができなかったりする児童が多いようであった。本学習をとおして、友達と本について少人数での語り合いがもたれたことは、他のテーマに触れる機会をもてただけでなく、本をとおして友達の考えに触れるよい機会となった。また、少人数での座談会なので、発表のように形式張った話し方ではなく、話しやすい雰囲気の中での話し合いが行われていたことや、発言がそれぞれに保障されている点なども有効であった。さらに、少人数での話し合いの様子を学級全体に紹介できるように、視聴覚機器を活用したり、用意された提示資料を学級に掲示したりすることにより、話し合いの雰囲気を他のグループにも共有できたことも学習を支える大切な要素となった。この読書座談会をきっかけとして、読書活動がさらに充実したものになっていくことに期待したい。

●ワークシート（教育出版 教師用指導書 資料内にあるワークシートを使用）

「読書座談会」をしよう

▼「読書座談会」の準備をしましょう。

①読書座談会 のテーマを決めましょう。

(発表のくふう)

②自分の決めたテーマによって、読む本の題名と著者・出版社を書きましょう。	題 名 著 者 出 版 社	
--------------------------------------	-----------------------------	--

③読書の計画を立てましょう。

月／日	月／日	月／日
/	/	/
/	/	/
/	/	/

④「読書座談会」の発表方法を考えましょう。

(発表資料の準備)

「読書座談会」をしよう?

△「読書座談会」を行うの目標を書きましょう。

△他のグループの発表を聞いて、いいなと思ったことを書きましょう。

グループ	よいと思った点	グループ	よいと思った点

○友達がいっしょにしたいと思う、読んでみたい本の題名と著者を記入しましょう。

題名	著者	出版社